

# 校区の取り組みを紹介します!

## 小田部校区

9月16日(土)小田部公民館と男女共同参画を進める会の共催で講演会「ミャンマーで出あって、そして壊された笑顔」を実施しました。軍事クーデターが起こり2年を経た今も、民主化を求める国民に対して、弾圧が続いています。現状の正しい理解を持つことも願っての企画でした。

今回講師としてお迎えした松本敏秀さんは、歯科医師、歯学博士ですが、長年にわたり「アジアの子どものデンタルケア」に取り組み、コロナ前は一年の半分をミャンマーに滞在して子どもたちの健康のために尽力されてきました。松本さんは「治療するには免許があるが、病気予防は誰でもできる!」を合言葉に「歯ブラシ一本からの健康作り」を目指して活動してきました。

講演では、沢山の写真や映像を通して具体的な働き現場の様子のほかミャンマーの文化や多くの部族のことなど興味の尽きないお話を伺うことができました。また、パートナーの松本さえさんは「ビルマの豎琴」の演奏を披露してくださいました。松本敏秀さんは「福岡・ミャンマー友だちの会」の代表世話人を担い、福岡在住の方々の様々なお世話、相談、親睦に努めています。参加者30名。あっという間の2時間でした。小田部校区 田口 昭典



# かたらい

## 早良区男女共同参画講演会を開催しました!

### 「ダニエルのすごくあたりまえの男女共同参画」

講師 ダニエル・カールさん(タレント)

令和5年11月18日(土) 早良市民センター ホール



ダニエル・カールさん

多彩な経歴をお持ちのダニエル・カールさんに皆が暮らしやすい社会を創るヒントをいただきました。

男女共同参画をすすめるために「コミュニケーション力を上げていこう」と提案され、ご自身が日本に留学された時やお勤めをしていた時に感じた「男女差」「日本語の曖昧さ」を指摘され、自分の気持ちを口にしなくても以心伝心で相手に伝わるのが当たり前だと思わず、率直に開放的に本当の自分の意見を伝えることがより良いコミュニケーションに繋がるのではないかとお話がありました。

自分の中にある「言わなくても分かるやろう」という思い込みに気付き、性別に関わらずお互いを尊重しながら本当の自分の意思・意見を丁寧に伝え合うことが男女共同参画の第一歩になるのだなと感じました。時に山形弁を交えての楽しく心温まる良い講演会でした。

講演の前には、早良区男女共同参画をすすめる会のみんなで「第1話 あなたの家は大丈夫」、「第2話 みーんなで町づくり」の題目で生活の中にある無意識の偏見を考える寸劇をしました。



## 早良校区

9月3日(日)「<sup>あなたわたし</sup>男と私の料理教室」を開催しました。普段は台所に、なかなか立つことがない男性の方たちに、少しでも料理づくりに興味を持ってもらうきっかけになればと思い開催しています。

男女共同参画委員が町内(6町内)毎にレシピを作成し、料理に取り組みます。料理中はとても和やかに楽しく、みなさん包丁さばきも上手で、試行錯誤しながら味付けされていました。

試食会では会話も弾み楽しいひと時を過ごしました。(料理はおいしかったです。)今では「男の料理教室」もでき、その際は男女共同参画委員が招待されます。2月には鎮守恵子さんを講師に迎え、講演会も行いました。

早良校区 北崎エミ子



## 令和5年度 早良区男女共同参画をすすめる会 委員紹介

百道浜 島本 三重子	西 新 曲手 さよみ	百 道 村山 美都子
高 取 一坊寺 優子	室 見 江藤 みどり	原 松永 真喜子
大 原 藤田 千恵子	原 北 李 次子	小田部 田口 昭典
飯倉中央 佐藤 京子	飯 原 藤井 和美	原 西 石津 小春
飯 倉 細川 勝子	有 田 川野 芳恵	有 住 中村 名菜代
賀 茂 早田 祐子	田 隈 西川 久美代 上 窪 文子	田 村 緒方 豊子
野 芥 日高 知子	四箇田 川副 ひとみ	入 部 立石 妙子
脇 山 真子 美穂	内野 曲淵 石田 真理子	早 良 北崎 エミ子



【発行】 早良区地域支援課・早良区男女共同参画をすすめる会

〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1番1号 電話 092-833-4403 令和6年3月発行

早良区男女共同参画をすすめる会は、下記の宣言を校区活動の指標とし、「校区活動に男女共同参画の視点をもたらしこと」を目指して活動しています。

## 早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ① 地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ② 学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③ 公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④ 自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から校区行事を盛り上げる。

## ブロック活動紹介

早良区男女共同参画をすすめる会では、区内を4つのブロックに分けて研修を行っています。令和5年度は、次の4つのブロックで研修を行いました。

### Aブロック (野芥、四箇田、入部、脇山、内野・曲淵、早良校区)

#### DVD上映会「ヒーロー」「無縁社会と家庭」 ～生きること つながること～

令和5年12月2日(土) ともてらす早良 大会議室



近年、社会から孤立している人が増え、家族や地域、職場の繋がり希薄化により「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対して何が出来るでしょうか。

この作品は、地域社会と縁を持たなかった働き盛りのサラリーマンがあるきっかけから地域と関わるようになり、近所の高齢者や家族と出会っていく中で自分の家族との絆も深めていくという内容でした。

上映の後、地域の人と縁を結び合っていくために地域の一員である自分は、どんな事ができるかなど各校区で話し合い意見交換をしました。その中で、校区の行事を案内する事を

大切にす、声かけをする、勇気はいるが見てみないふりをしないように心がけるなど、そうした事を続けていくことが大切ではないか、という意見が出ました。

脇山校区 真子 美穂

### Bブロック (飯倉、有田、有住、賀茂、田隈、田村校区)

#### 映画上映会「ベアテの贈りもの」

令和5年10月14日(土) 田村公民館



映画「ベアテの贈りもの」公式サイトより

日本国憲法作成の中で、特に女性の人権に関する草案作成にかかわったメンバーの一人がベアテ・シロタ・ゴードンです。リストの再来と言われた父レオは、作曲家山田耕筰に誘われピアニスト育成のため、現在の東京芸術大学の教授となり一家は来日します。幼少期を日本で過ごしたベアテは、アメリカ留学ののち両親と合流するため再来日します。戦後22歳になったベアテは、主に女性や子どもの権利について具体的な憲法の草案作成に携わります。図書館へ行ってはいろいろな国の憲法を調べて参考にしました。日本の歴史に合わないなどと強く反対されるも、なんとか「男女平等」の文言を盛り込み、14条・24条を作成しました。その後、女性解放運動は少しずつ進んでいき、参政権、労働権、男女共学等々を確立していきました。

しかしながら、現在、男女の格差を数値化した世界ランキングであるジェンダーギャップ指数で日本は、146か国中125位、憲法と現実はまだまだかけ離れています。自分たちができることは何かと考えさせられました。

賀茂校区 早田 祐子



### Cブロック (大原、原北、小田部、飯倉中央、飯原、原西校区)

#### 「人生100年時代のワークライフバランス」

講師 がんせ あきこ 雁瀬 暁子さん (福岡市男女共同参画推進サポーター (株)マミースマイル 代表取締役)  
令和5年10月22日(日) 飯倉中央公民館



講演では、男女の無意識の偏見に気づかされるクイズに始まり、日本では圧倒的に母親の家事育児時間が多くワンオペ状態であることや、働きすぎの日本人の現状から、長時間労働を是正し男女ともに働き方を見直すことで、女性が子育てと両立しながら働くことができ、男性が子育てに積極的に携われるような社会に変革していく必要があることを解りやすく説明して頂きました。

また、男女共同参画を通して、誰もが生きやすい社会になるために今できることは？との問いに対し「女はこうあるべき」「男はこうあるべき」という無意識の偏見(ジェンダーバイアス)を外すこ

とが必要であり、無意識の思い込みがないかどうかを常に自分に問いかけ、ジェンダーバイアスの醸成、再生産をしないようにしていく必要があるとご講話いただきました。

その時の話を、後日じっくりと考えてみました。毎日あちらこちらにぶつかりながら、それでも楽しく生活しよう頑張っている人は多い。各々アイデンティティを大切にしながら、彼らは仲間やパートナーと助け合っている。「当然そこにはジェンダーバイアスは存在しない。」しかしながら、ワークライフバランスを可能にするには、個人の努力だけでは難しい。経済面や福祉面が不安定な社会では、心の余裕が無くなり、他者への思いやりが欠けるなどの弊害が生まれる。「誰もが生きやすい社会」にするには、成熟した社会の存在が欠かせないと思いました。

原北校区 手島 万里

### Dブロック (百道浜、西新、百道、高取、室見、原校区)

#### 映画上映会「スタンドアップ」

令和5年9月30日(土) 百道公民館



©2006 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

1980年代、暴力をふるう夫と別れ、シングルマザーになった女性が、男性社会であった鉱山労働者となる。鉱山では、性的嫌がらせを受け、見るのも辛い現実の日々でしたが、この女性労働者が立ち上がり、勝訴するまでを描いた実話の映画を鑑賞しました。

映画鑑賞後、司会者より、福岡でも女性が元上司と会社を提訴した日本初のセクシュアルハラスメント裁判があり、1992年に全面勝訴したとの話もありました。

その判決後、平成11(1999)年には男女雇用機会均等法に女性労働者に対するセクシュアルハラスメント防止のための配慮義務が設けられ、平成19(2007)年には職場におけるセクシュアルハラスメント防止対策の措置が義務化されたことも知りました。

一方、2023年6月に発表された世界経済フォーラム(WEF)の「ジェンダーギャップ報告書」によると、日本は125位と主要先進国の中で最下位であり、課題は、政治と経済の2分野と言われています。誰もが生きやすい社会、より良い社会を目指すこれからも学んでいきたいと思えます。

百道浜校区 島本 三重子

